今場所もその好調さを持続した相撲で初日から６連勝。七日目に鬼ヶ嶽に敗れたものの、自身２度目となる優勝を意気込んでいる。鹿賀乃戸親方も「幕に戻ってくれて一安心。まずは三役復帰目指してと思っているが、波に乗れば今場所の優勝も夢ではない！」と期待を寄せる。

鹿富士〇（寄り切り）●若　剣

大関佐賀ノ海は初日に剛勇山に完敗したものの、二日目からは初日の敗戦を忘れたかのような本来の相撲で６連勝。特に相手に左を差されてからの引き落としが冴え、磯ノ海親方も「佐賀に対しては左を差しに行っちゃいけない！」と言わしめるほど。師匠の錦風親方も「引きでの相撲で勝つのはたまたまと思っていたが、今や完全に本人の技となってる」と驚きを隠せない。先場所の覇者がこのまま全勝の若ノ嶋について行くことができるのか。

佐賀海〇（引き落し）●千代鈴

英　筏●（引き落し）〇佐賀海

出羽翼〇（引き落し）●春ノ翔

春ノ翔は二日目までの相撲では、鹿賀乃戸親方が「春ノ翔は東も西も関係ない」と言うとおり、先場所、先々場所の勢いそのままに相手を圧倒する相撲を見せたが、三日目に烏帽子岳に負けてから歯車が狂ったか、五日目に剛勇山、中日に大神楽に敗れ、七日目は過去の対戦成績で７勝と負けたことのない出羽翼にまさかの引き落としで敗れて黒星先行の苦しい星勘定となった八日目以降、何とか本来の相撲を取り戻してもらいたい。

美空富士は今場所に向けて連日稽古を重ねて調整してきたとのことだが、糖尿病の影響でかつての面影が見られないほど痩せ細り、相手に左を差され一方的に攻められる防戦一方の相撲で初日からの４連敗で休場となった。桐壷親方は「来場所に進退を賭けて臨ませたい！」と決意をもって語った。

美空富●（寄り切り）〇出羽翼

関脇千代鈴は烏帽子岳と佐賀ノ海に負けた２番以外は、相手に圧力をかける危なげない相撲で、ここまで５勝２敗。大関昇進に向けて８番は勝ちたいところ。まだ横綱戦が残っていて、どちらかに勝つことが大関昇進の条件になりそうだ。

千代鈴〇（寄り切り）●魁　電

今場所の優勝争いは、全勝の２人と１敗の３人絞られたと言ってもいいだろう。残り４日間、どのような対戦が組まれ、その結果、最終的に賜杯を手にするのは誰になるのか、次回の本場所は５月５日の予定だ。

（錦風）

十両はベテラン琴王旋風

十両は三日目を終わった段階で３連勝は鳥海波、暫、琴乃王、宇治家の４力士。四日目と五日目に暫と琴乃王が連勝とし勝ちっぱなしはこの２力士となった。それを１敗で鳥海波、粲ノ城、宇治家、西神門が追う展開になった。

暫は場所前から新十両での優勝もあるのではと期待されていた通りの５連勝で、やはり優勝候補の筆頭に躍り出た。全く危なげないどっしりした取り口で四日目の天我には相撲を取らせず五日目同部屋の若雲山には豪快な上手投げを決めてつけ入るスキを与えない強さだ。

若雲山●（上手投げ）〇　暫

対する琴乃王は暫とは対照的に相手に差されながらもしぶとい相撲での肩透かしで勝ち星を重ねる。これが曲者琴乃王の相撲なのだが相手からすれば実に厄介だ。そして迎えた六日目にこの２人の直接対決が組まれた。展開的には暫の左差しからの寄りで決着かと思われた一番は予想通り暫が左を差す形にはなった、しかし、そこから琴乃王が土俵を回りながら粘る相撲で引き落としに破り勝ち越しを決めて単独トップに立った。

琴乃王〇（引き落し）●　暫

そして七日目の相手は電幕戦。琴乃王が警戒するのは電幕ののど輪。以前押し倒しで負けていることもあり連勝ストッパーとして期待されたが、あっさり左を差されて万事休した。今回土俵が一新されたことで琴乃王がその恩恵を受けている一人なのかは定かではないが、何だかこのまま優勝まで行く可能性もありそうだ。琴乃王を止める力士は誰か、八日目以降の取組も注目される。

電　幕●（押し出し）〇琴乃王

１敗で追う暫は七日目宇治家に勝って連敗はせず勝ち越しを決めた。

二日目から５連勝とし七日目に勝ち越しをかける西神門の相手はまだ白星のない桃乃洲。「この星の差での対戦は桃乃洲にとっては厳しいよね」との声が上がる中、なんと立ち合いから一か八か前に攻める桃乃洲がのど輪から押し倒して勝ってしまった。

西神門●（押し出し）〇桃乃洲

「いやー、わかんないもんだねー」と親方衆や館内の桟敷からも声があがる。桃乃洲としてもこのままズルズルと負けるようなら、陥落ということにもなりかねないのでこの白星を弾みにしたいところである。２敗目となった西神門の敗戦に春日根親方も負けは想定外だったはず。「こういうことがあるから紙相撲は取ってみないと分からないんだよねー」としみじみと語る春日根親方であった。

残り４日、琴乃王の結果次第でどうなるか分からないが、２敗勢までが優勝圏内となりそうか。その２敗勢で健闘しているのが鳥海波と宇治家の２人だ。鳥海波は幕内から陥落して更に番付を下げるパターンかと思われたがここまでは親方も予想外の結果に。「本当は雪若丸や柏陵山に頑張ってほしいんだけどね。」と勝間田親方。それでも東筆頭の山辺が連勝で白星を先行させて勝ち越しまであと２勝としている。

宇治家は七日目に１敗同士で暫と対戦したが、左を差し勝ったが足が流れて引き落とされた。勝機はあっただけに惜しまれる一番だった。宇治家や西神門はまだ琴乃王との一番を残しており今後の対戦が待たれるところであり盛り上がりは必至だ。

暫　〇（引き落し）●宇治家

（勝間田）